

## No.219

気候が穏やかになり、青い空と緑の木々、心地よい風が、私たちを和ませてくれたのも束の間、例年より20日ほど早い梅雨入りとなってしまいました。当分、すっきりとした青空はお預けのようです。

今月のレビューは、雨雲を吹き飛ばす、勢いのある話題が揃いました。

私たちは、トヨタ自動車（株）殿から「トヨタホーム部材部門品質管理優秀賞」、トヨタ自動車九州（株）殿から「鋼板品質レクサス賞」を受賞しました。お客様から品質に関する賞を受賞したということは大変喜ばしいこと。これらの受賞を励みにさらに高品質を目指してがんばっていきます。

（株）住友金属小倉の山本國丸氏が、第一線で業務に精励し、他の模範となるような技術などをもつ人に贈られる「黄綬褒章」を受章しました。圧延業務一筋に技術・技能の研鑽に励んできた山本氏の喜びと東京本社での役員への受章報告の様子をご紹介します。

全日本合唱コンクール全国大会で21年連続金賞受賞の実績を持つ住友金属混声合唱団の第12回リサイタルが、5年ぶりに大阪のザ・シンフォニーホールで開催されました。当日は、あいにくの雨模様でしたが会場いっぱいのお客様を魅了しました。

衣替えの6月、まだまだ肌寒いので、お体にはお気をつけ下さい。

## 目次

## ● 自信を持ってお届けしています

トヨタ自動車（株）殿より「トヨタホーム部材部門品質管理優秀賞」を受賞、トヨタ自動車九州（株）殿より「鋼板品質レクサス賞」を受賞

## ● 若手への励み、大いなる技能の伝承

株式会社住友金属小倉 山本國丸氏が「黄綬褒章」を受章

## ● 雨に歌えば

住友金属混声合唱団 第12回リサイタル開催

## ● 自信を持ってお届けしています

トヨタ自動車（株）殿より「トヨタホーム部材部門品質管理優秀賞」を受賞、トヨタ自動車九州（株）殿より「鋼板品質レクサス賞」を受賞

私たちが開発する製品の品質はお客様から高い評価をいただいています。その証として、このたび、お客様から2つの品質に関する賞を受賞しました。トヨタ自動車（株）殿から「トヨタホーム部材部門品質管理優秀賞」を受賞しました。2005年度、2006年度に引き続き3年連続の受賞です。

私たちは、軽量H形鋼のトップメーカーです。軽量でありながら丈夫な鉄骨構造をつくる軽量H形鋼は、住宅分野においてお客様からご好評をいただいている製品で、トヨタ自動車（株）住宅生産部殿と契約し、トヨタホーム（株）殿向けの住宅用部材として従来から軽量H形鋼を納入しています。

私たちの製販技一体となった取り組みによって、3年連続で「誤欠品・不具合・市場クレーム0件」の品質目標を達成したことが、トヨタ自動車（株）殿から高い評価を受け、今回の受賞にいたりました。

振動対策や静音対策といったクルマ造りで培った技術を活かすなどトヨタグループの技術力を結集した家造りで、住宅分野でも躍進が著しいトヨタ自動車（株）殿からの3年連続の「品質管理優秀賞」受賞は、大変喜ばしいこと。私たちは、4年連続受賞に向けて、意気込みはますます高まっています。



2つめの受賞は、トヨタ自動車九州（株）殿からです。

私たちは、トヨタ自動車九州（株）殿より、トヨタ自動車九州（株）車体部主催の「平成19年度（2007年度）鋼板品質まとめ会」において、「鋼板品質レクサス賞」を受賞しました。

最高品質レベルを求められるレクサスブランド車を生産しているトヨタ自動車九州（株）殿では、鋼板を納入しているメーカーの中で、品質実績が特に優れたメーカーを表彰する制度が2003年度からスタート。

そして、レクサスブランド車生産開始の2006年度より最上位の賞として「鋼板品質レクサス賞」が新設されました。私たちは、2005年度、2006年度と2年連続で「品質優秀賞」を受賞していますが、今年度は、「鋼板品質レクサス賞」をいただきました。

私たちは、酸洗・冷延・めっき・試験を一体化した直行一貫製造プロセスにより、1日数千トンの自動車用鋼板を生産する中で、世界有数の厳しい基準で、品質競争力を確立してきました。また、定期的に経験豊かな品質巡回者を派遣することで、鋼板製品の品質状況の把握に努め、製鉄所へのフィードバック体制を確立。こうした改善努力をしながら、品質の指標をクリアしたことが、今回の受賞となりました。

世界で最も厳格な品質が求められる日本の自動車用鋼板において、日本有数の各製鉄所が製造・納入される中から私たちが選ばれたことは大変名誉なことです。私たちは、これらの受賞を励みに、さらにお客様にご満足いただける品質を目指して、品質管理活動に取り組んでいきます。

## ● 若手への励み、大いなる技能の伝承

株式会社住友金属小倉 山本國丸氏が「黄綬褒章」を受章

今年の春の叙勲で、（株）住友金属小倉の山本國丸氏が、第一線で業務に精励し、他の模範となるような技術をもつ人に贈られる「黄綬褒章」を受章しました。（株）住友金属小倉は、住友金属の小倉製鉄所が前身で、特殊鋼の棒鋼線材事業を担う住友金属のグループ会社です。山本氏は1963年に小倉製鉄所に入社し、教習所での3年間の教育後、1966年に分塊工場に配属され、係長・副長・参事を歴任。圧延業務一筋に技術・技能の研鑽に精励し、この3月に定年退職した現在も、現場を支え後進の教育に欠かせない人物として活躍しています。

幾多の開発・改善により安全性・生産性の向上を実現し、業界トップクラスの競争力確保に貢献する中、一昨年の卓越した技能者（現代の名工）としての厚生労働大臣表彰、昨年の鉄鋼技能功績による日本鉄鋼協会表彰の受賞に引き続き、今回の受賞となりました。

5月16日には厚生労働大臣から褒章伝達の後、皇居にて天皇陛下に拝謁、5月29日に東京本社にて役員への受章報告を行いました。当日急遽、会長の下妻も参加し、和気藹々の報告会となりました。



**5月29日 山本氏の受章報告（東京本社）**  
中央が山本氏、左から専務執行役員：小塚修一郎、会長：下妻 博  
右から常務執行役員：堀田義高、副社長：本部文雄、社長：友野 宏

「今回の受章は、これまでの分塊工場をつくり上げてきた全員に対する評価であり、その代表としての受章だと思っております。若い頃から、単刀直入にモノを言ってきたのが良かったのかなと思います。先輩の教えや自ら重ねてきた体験から、『現場はウソをつかない』『Get the Fact!』が自分の信念。自分の半生を捧げてきた分塊工場という職場で働けたことに感謝しています。今回の受章は若手にとっても大いに励みになったと思います。今後も微力ながらも全力を尽くす所存です。」

この受章を心より喜んでくれた多くの職場の仲間と長年支えてくれた家族への感謝の気持ちや、天皇陛下への拝謁もさることながら、会社の荣誉として迎えてもらった今回の懇談もとても緊張したことなど、受章の喜びを色々と語ってくれました。

小倉の分塊工場とともに歩んで来た山本氏ですが、その卓越した技能は次の世代にもしっかりと受け継がれていくことでしょう。

● 雨に歌えば  
＜住友金属混声合唱団 第12回リサイタル開催＞

さる5月24日（土）、大阪のザ・シンフォニーホールで、住友金属混声合唱団が、第12回リサイタルを開催しました。当日は、あいにくの雨模様。そんな中、会場いっぱいの1,600人を超えるお客様にご来場いただき、自慢の歌声を披露しました。

5年ぶりの開催となった今回のリサイタル。住友金属混声合唱団はこの間も着実な歩みを続けてきました。2004年には、中国・上海市で大阪・上海友好都市提携30周年記念事業として開催されたジャパンハーモニー・上海に、大阪市から派遣要請を受け参加しました。2006年には、全日本合唱コンクール全国大会で20年連続金賞を受賞しました。2007年には、団創立60周年を迎え、関西合唱連盟から長井賞（その年に最も活躍した個人・団体に贈られる賞）を受賞。この長井賞受賞を記念し、今回のリサイタルの開催となりました。



今回のリサイタルは、住友金属混声合唱団が得意とする日本語中心のプログラム。特に「ポピュラスステージ」と題したステージでは、団員がカラフルな私服で登場。普段とは違う雰囲気でお客様からご好評をいただきました。また、最終ステージでは日本の合唱曲の名曲「水のいのち」を演奏。雨が集まり川となり大きな海へと流れやがて大海から天へ昇華していく「水の輪廻」を歌い上げました。

会場には、私たちの地元（大阪・尼崎・和歌山）の中学生・高校生約50人をご招待。これからも「できるだけたくさんの人たちに私たちの歌を届けたい」そう願いながら歌声を響かせていきます。